

## 自衛艦と釣船の衝突

鉄道の踏切りにクルマがいて、電車と衝突すれば、どちらが悪いかわかる。クルマに責任がある。トレーラーと軽自動車が衝突すれば、その時の状況にもよるが、おおむねトレーラー側に責任が問われる。明らかに信号無視をした自転車と車が衝突すれば、クルマの所為にされる。これは理不尽な話である。

数万トン数十万トンのタンカーと釣船が衝突したら、大型のタンカーが見張りを怠っていたという考えが、特にマスメディアの方からでてくる。「見張り」は釣船も同じだろうが。衝突を回避するのに、巨大なタンカーがあわてて舵を切っても間に合わないだろう。普通に考えれば、釣船の方が回避行動をとる方がたやすいだろう。小回りがきく。・・・しかしながら、この手の報道は、1回、せいぜい2回ですんでいる。

ところが、自衛艦と釣船との衝突の場合、いつまでも尾をひいてしつこく報道し続けるのが、朝日を初めとする新聞やテレビ番組である。またぞろ「自衛隊無用論」である。・・・アホッ！ 誰のための自衛隊やねん！

なだしおの時には、ヒステリックに喚いたおねえちゃんが、検証を続けるうちに「作り話」であったことを白状した。新聞は、自分たちの作ったストーリーに沿ったことしか報道しない。

阪神大震災のときには、総理と県知事の無能さによって自衛隊の出動が大幅に遅れ、失わなくてもよかった貴重な人材を数多く失ってしまった。3.11の東日本大震災と津波においては、比較的早期から自衛隊が投入されたが、津波の被害は物凄く、多くの人命と建造物が失われた。その災害の直前とっていいほどの時に、自衛隊はこのことあるを想定し、訓練までしていた。この2つの災害は、いずれも社会党や民主党政権下に発生し、対応が後手々にまわり、せっかくの自衛隊の持つ機能を十分に発揮することなく、あたら有為の人材を失ってしまった。

投入された自衛隊員の中には、自分の家も被害に遭っている隊員もいる。それでも被災者を優先して、ほとんど不眠不休で捜索活動に専念し、眠るときは床にゴロ寝。入浴どころかシャワーさえ浴びることができない状態で働いた。家族が被災した隊員も多く、しかし、残る家族は「国民のために頑張ってきて下さい」と送り出したという。

当然のことながら、乳幼児の遺体も見つかる。あふれる涙をこらえて次々と捜索作業をおこなった。(これらのことについては、改めて書くかもしれない。)

話を戻すと、自衛艦と釣船との衝突の話である。必ずといっていいほど、どちらに回避義務があったか、と問題になる。釣船の船長が「向こうに回避義務がある」と言ったそうだが、何をバカな。遊びに行っている遊漁船は、高々30トンである。この船が回避するのと、数千トン数万トンの船が回避するのと、どちらが楽にできるか、考えるまでもない。ボクの乏しい経験でも、狭い海峡を大型タンカーや貨物船が通過するとき、釣り舟は、遠く離れたところで待機する。漁師の常識である。

新聞は自衛艦だから大騒ぎするだけである。

なぜ、自衛隊をいじめるのか？ いざというとき、誰が助けてくれるというのか！ 海外で日本人が隔離されて被害をうけたとき、戦艦4隻で威圧すれば、相手は日本人を釈放するだろう。100年以上前の台湾だかで、現実にあったことだ。

「安倍さんが首相になったら、戦争が起こる」と共産党などが宣伝する。どうやって戦争になるのか理解できない。「集団的自衛権」などともってまわった表現をするけれども、要は、日本の権益と日本人の安全を守るためだろう。今の時代、小競り合いはあっても、大きな戦争なんか起こる余地がない。するならミサイルが飛び交い、核爆弾が使われるだろう。敵だけではなく、味方の犠牲も大きくなる。そんなバカなことをする国はない。……かつてハマコーさんが、原爆を三発だけ作らせて頂戴、と言って叱られたそうだが、ボクもハマコーさんに賛成だ。自衛隊が動かないと、米軍が助けてくれるはずがない。当然ながら、戦争や侵略に対しての抑止力を日本も持たねばならない。

2014.04.25.